

01 カーボンニュートラル実現に向けた取り組み

三井住友トラストグループは、「カーボンニュートラルに向けた移行計画」のもと、自社グループおよび投融資・運用ポートフォリオのネットゼロに向けた取り組みを進めています。同時に、国内で見込まれる約150兆円の脱炭素資金需要※に対し、エンゲージメントの推進や、ファイナンス・ソリューションの提供を通じて、投資家と事業者をつなぐ好循環を推進していきます。

当グループは、気候変動が事業活動や財務に及ぼす影響を重要な経営課題と位置付け、ガバナンス、戦略、

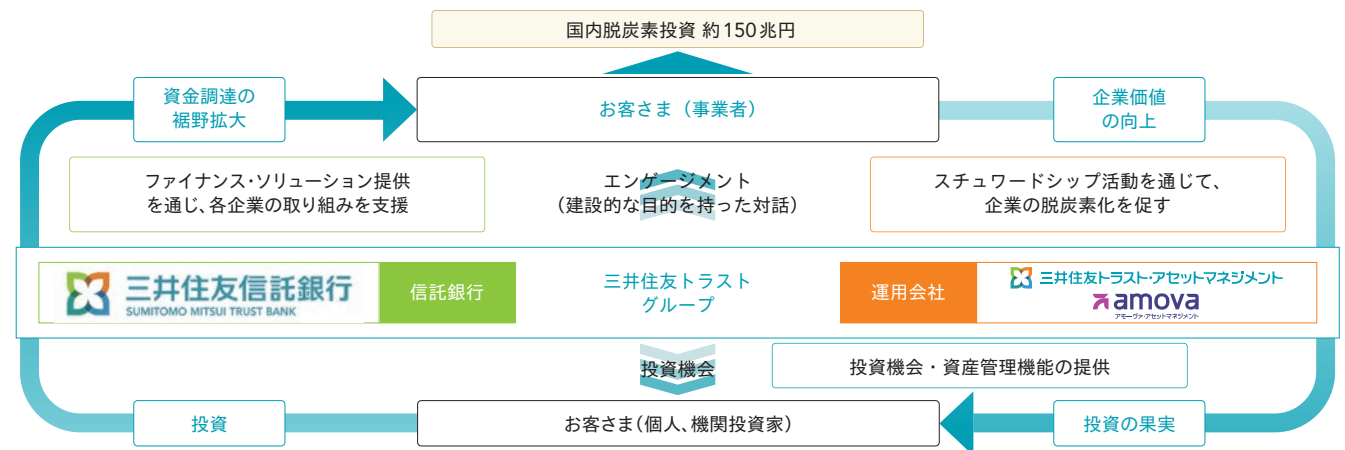
リスク管理ならびに指標目標の観点から体系的に対応を進めています。

気候変動問題の取り組みの詳細については、「気候変動レポート 2025/2026」を参照してください。

※（出所）経済産業省「GX実現に向けた基本方針」



02 カーボンニュートラルに向けた好循環



① エンゲージメント

当グループでは、カーボンニュートラルの実現に向け、三井住友トラスト・アセットマネジメント、アモーヴァ・アセットマネジメント、三井住友信託銀行が、それぞれの機能と専門性を活かし、実体経済および投資先企業の変革に向けたエンゲージメントを推進しています。

三井住友トラスト・アセットマネジメントでは、排出削減インパクトの大きい「気候変動注力100社」を設定し、東京、ニューヨーク、ロンドンのグローバル3拠点から、同社単独の活動に加えてイニシアティブも活用しつつ、事業戦略や投資計画に踏み込んだ対話を実施しています。

アモーヴァ・アセットマネジメントでは、高排出企業60

社を特定し、株式および債券の運用担当者がサステナブルインベストメント部と連携し、エンゲージメントを通じて企業の変革を後押ししています。両社は英国スチュワードシップコードの署名機関として、議決権行使や投資判断と一体となったスチュワードシップ活動を展開しています。

三井住友信託銀行では、資金提供やアドバイザーなどのソリューション提供に加え、協働型エンゲージメントを展開しています。特に、電力、石油・ガス、鉄鋼などの高排出セクターのお客さまを中心に、移行戦略の高度化に向けた対話を実施し、お客さまの脱炭素化を支援しています。

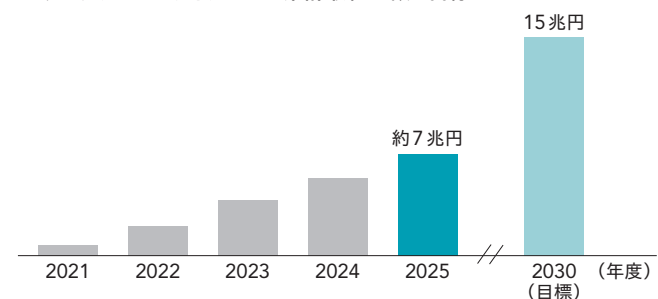


② ファイナンス・ソリューション提供

三井住友信託銀行は、信託の力を活用し、カーボンニュートラルの実現に向けた取り組みを進めています。

サステナブルファイナンスにおいては、2030年度までに累計15兆円の資金供給目標を掲げ、2026年3月末時点での累計取組金額は約7兆円となりました。企業活動が環境・社会に与える影響を包括的に評価するポジティブ・インパクト・ファイナンスや、脱炭素への移行戦略を支援するトランジション・ローンなど、高度な専門性を要するソリューションを提供し、産業界の構造転換を後押しして

●サステナブルファイナンスの累計取組金額と目標

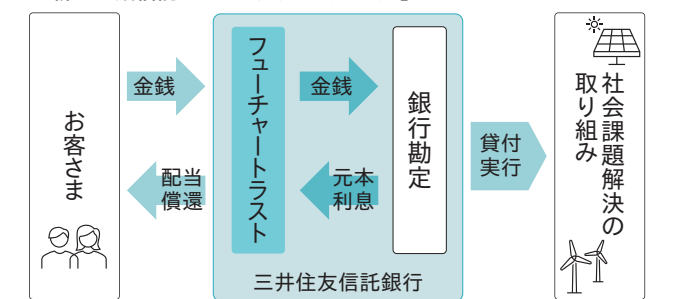


います。

また、個人の資産形成と社会課題解決を結び付ける「新型金銭信託＜フューチャートラスト＞」を通じ、個人金融資産を企業の脱炭素に向けた資金需要などへ橋渡しする取り組みも進めています。本商品は2025年日経優秀製品・サービス賞 ファイナンス部門賞を受賞し、2026年3月末時点の累計販売額は約3,400億円となりました。

今後も投資家と事業者をつなぐ好循環を通じて、カーボンニュートラルの実現に貢献していきます。

●「新型金銭信託＜フューチャートラスト＞」



サーキュラーエコノミーの実現に向けた支援

当グループは、資源枯渇や環境破壊といった深刻な社会課題の解決に向け、資源を使い捨てにせず価値として循環させるサーキュラーエコノミー（循環経済）への移行を、金融・非金融の両面から支援しています。

その中核を担うのが、理系技術者を中心とした専門家集団「TBF（テクノロジー・ベースド・ファイナンス）チーム」▶P.53です。TBFチームは、最新の技術や政策に関する知見を金融と融合させ、循環型ビジネスモデルの構築を高度な専門性で後押ししています。

例えば、花王株式会社が市民と連携し推進するリサイクルレーション事業においては、「IMM（インパクト測定・管理）」の実装支援を提供しています。同事業は、

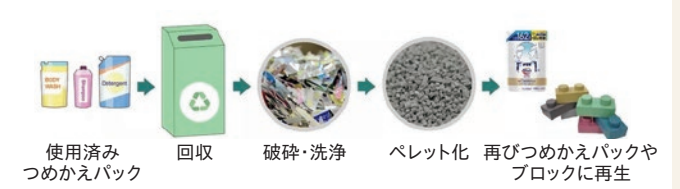
使用済みプラスチック容器を回収・再資源化し、新たな製品や原材料へと循環させることで、廃棄物削減と資源循環の両立を目指す取り組みです。三井住友信託銀行では、この事業がもたらす環境・社会への効果を事業活動との関係性の中で整理・可視化し、行政・民間・地域が連携しながら継続的に機能するビジネスモデルとして位置付ける基盤整備を支援しました。

当グループでは、今後も、サーキュラーエコノミーの実現を目指し、既存企業、スタートアップ企業、地域経済など多くの関係者との接点を活かし、伴走型のビジネス共創を展開していきます。

リサイクルレーションとは

使用済みつめかえパックを生活者・自治体・企業と協力して回収し、再生樹脂としてブロック化や“パックからパックへ”の水平リサイクルなどに活用して新たな価値を生み出す資源循環の取り組みです。

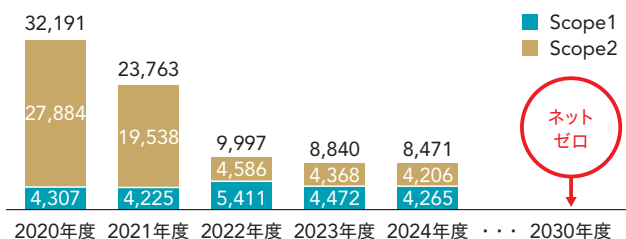
●リサイクルレーションの概要



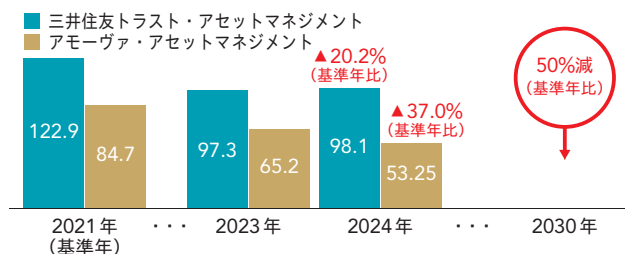
03 主要目標の進捗状況

当グループは「カーボンニュートラル宣言」のもと、2030年までに自社グループのGHG排出量ネットゼロ、2050年までに投融资ポートフォリオ、運用ポートフォリオのGHG排出量ネットゼロを目指します。

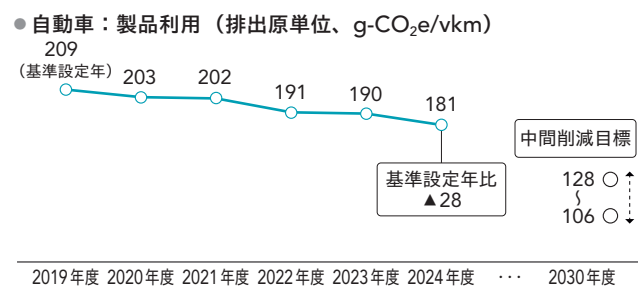
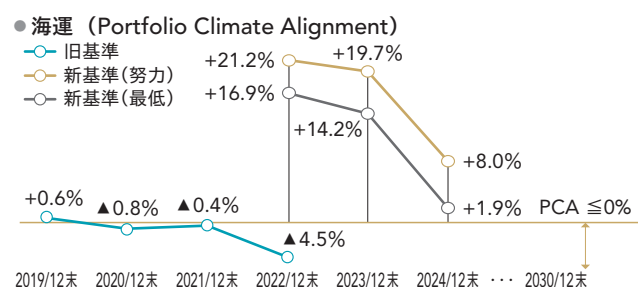
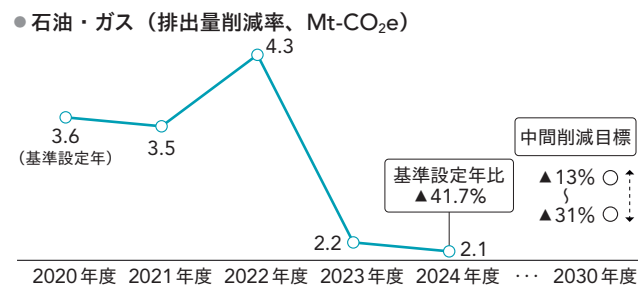
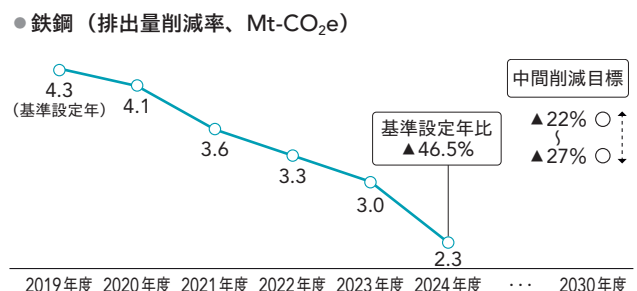
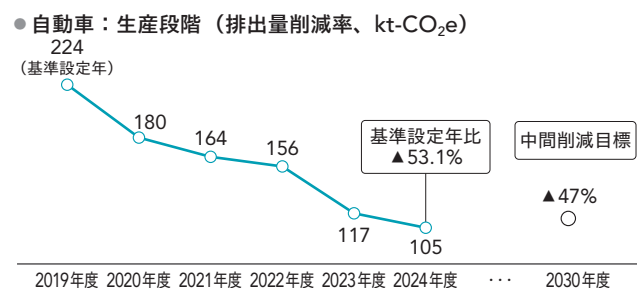
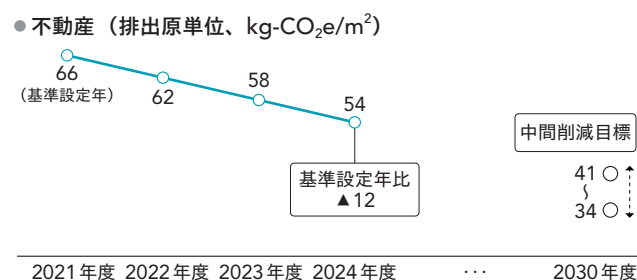
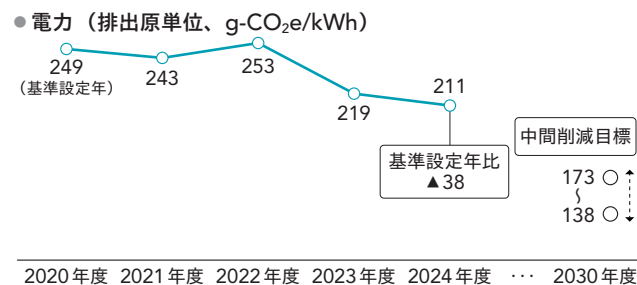
自社グループのGHG排出量 (t-CO₂e)



運用ポートフォリオGHG排出量 (t-CO₂e/百万米ドル)



投融资ポートフォリオ セクター別



各数値の算出方法や気候変動問題の取り組みの詳細については、「気候変動レポート 2025/2026」を参照ください。
https://www.smtg.jp/-/media/tg/sustainability/report/2025/climate_all.pdf

